

栄養改善に関する国際的な目標について

	最終年	目標の内容
① WHO/Global Nutrition Targets 2025	2025 年	2025 年までに以下の達成を目指す 目標 1 (発育阻害)：子供の発育阻害 40%減。 目標 2 (貧血)：女性の貧血 50%減。 目標 3(低体重)：出生時低体重を 30%減。 目標 4(子供の過体重)：過体重を増やさない 目標 5 (母乳育児)：生後 6 カ月間の完全母乳育児 50%以上。 目標 6 (消耗症)：消耗症の割合を 5%以下
② WHA Global Monitoring Framework on NCDs	2025 年	目標 1 肥満と糖尿病の増加阻止 目標 2 塩分摂取量を 30%減少させる 目標 3 高血圧の 25%減少
③ N4G/Nutrition for Growth Compact	2020 年	2020 年までに <ul style="list-style-type: none"> 少なくとも 5 億人の妊婦及び 2 歳未満の子どもに効果的な栄養介入。 5 歳未満の発育不良の子どもの数を少なくとも 2,000 万人減らす。 発育阻害を予防、母乳育児の増加、重度の急性栄養不良の治療を増やすことで少なくとも 5 歳未満の 170 万人の子どもの命を救う
④ FAO/WHO Second International Conference on Nutrition (ICN2)	2025 年	ICN2 の成果文書において、Global Nutrition Target 2025 と同じ数値目標 (NCDs 削減目標) を掲げた
⑤ 国連総会 (UN) 持続可能な開発目標 (SDGs)	2030 年	目標 2 について 2030 年までに、飢餓とあらゆる形態の栄養不良に終止符を打ち、持続可能な食料生産を達成することをねらいとしている。 2.1 ：2030 年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層や乳幼児を含む脆弱な状況にある人々が、一年中、安全で栄養価が高く、十分な食料にアクセスできるようにする。 2.2 ：2030 年までに、5 歳未満の子どもの発育阻害及び消耗症に関する国際的に合意された目標の達成を含め、あらゆる形態の栄養不良を撲滅し、思春期の女子、妊娠中及び授乳中の女性及び高齢者の栄養ニーズに対処する。
⑥ UN Decade of Action on Nutrition (国連栄養のための 10 年)	2025 年	世界的な栄養活動の新たな目標と方向性を示すものであり、ICN2 コミットメントの実施を加速させ、2025 年までに世界的な栄養目標と食事に関連する非感染性疾患 (NCD) 目標を達成し、2030 年までに持続可能な開発目標の実現に貢献することを目的としている。

①～⑥は外部リンクに移動できるように設定しています。